

良知館通信③

熊沢蕃山入門懇願の跡

山本 義雄

藤樹書院境内の西側中ほどに藤の木が植えてあります。かつて、中江家の門はこの辺りにありました。熊沢蕃山は優れた先生を求めて各地を回っていたのですが、「これだ」という先生に巡り会えずにいま



した。正直馬子の話を聞いて、藤樹先生を訪ね教えを請います。先生は「自分は師たるに足らざ

る」と断ります。蕃山は一旦桐原(近江八幡)へ帰り、再び小川村を訪ねますが許されません。蕃山は、この場所に二夜座して懇願し、やっと先生のお母さんの取りなしによって許されました。

先生のもとで学問に励んだのは、僅か八カ月でしたが、先生はわが心友であると別れを惜しみました。この蕃山に藤樹先生が送った手紙に「吾、徳あらざれども、隣あるの榮

しみあり」と記されていました。このことは、論語の中での「徳は孤ならず、必ず鄰有り」の徳を積むということは、所謂孤独ではない、必ず誰かが知っていてくれる。これは、私はそんなに徳はないけれども、謙虚さと心の深さは大変見事で蕃山が来てくれた事をとて喜んでいるのです。蕃山は後に池田光政に仕え、異色の経世家として著名になりました。その後、古河(茨城県)に幽閉されて亡くなりますが、それまで四十年間先生の命日には欠かさず墓に詣でたのです。

ここはその様な羨むばかりの師弟関係が生まれた場所です。

楷の木

平成十三年三月岡山県備前市の梶田博嗣氏が寄贈された閑谷学校ゆかりの楷の木。この高木の原産は山東省曲阜の孔子廟です。

楷を日本に入れたのは白沢保美林学博士である。大正四年中国の孔子廟から種子を持ち帰り苗を育て孔子のゆかりのある場所へ寄贈されました。学問の象徴としての孔子廟との



繋がりでカイノキが日本各地に好んで植えられて、学問の聖木として定着している。熊沢蕃山先生が修学された藤樹書院に植えられ孔孟の学の興起を使命とされた。

藤樹先生のこの地に植えられた事は、すこぶる意義深いものです。ウルシ科の落葉高木でランシンボクとも呼ばれています。

中江藤樹・心のセミナー

「心のセミナー」は、広く市民の皆様が藤樹さんをもっと身近に知っていたきたいと願って、昨年に引き続き『近江聖人・中江藤樹』の映画鑑賞会として、朽木及び今津の地域で開催しました。

先ず二月二十七日(土)の午後、朽木やまびこ館で開催しました。小学生からお年寄りまで、約四十名(会員を含めて)の方が来場されました。



続いて二月二十八日(日)の午後には、今津東コミセンで開催しました。この日は、会員を含めて五十余名の方々にご参会いただきました。

ご参加いただきました皆様、本当にありがとうございました。(事務局)

賛助会員一覧

〔新規加入〕

○八田建設株式会社 豊野

〔既加入〕

○ウェストレイクホテル可以登楼

○株式会社 大山建設

○株式会社 桑原組

○有限会社 宏和商事

○有限会社 白浜荘

○社会福祉法人 新旭みのり会

○ソエダ株式会社

○株式会社 TADCOホールディング

○鉄屋商事株式会社

○株式会社 戸井薬局

○とも栄 藤樹街道本店

○中村印刷株式会社

○株式会社 中村測量設計

○ニッケイ工業株式会社

○有限会社 馬場塗装

○三田村印刷株式会社

○有限会社 綿庄食品店 (五十音順)

あとがき

すごいことが身近にあっても、これまで知らなかった、気づかなかったということが、この歳になって、あまりにもたくさんあります。今回の各寄稿文からも、実に多くのことを学びました。(H・M)